

# 3 日本人の自画像を歴史の中に発見でききる教科書

## ①争いを避け、平和を愛する、おだやかな国民性

つたとみられます。また35棟の高床式倉



食料などを貯蔵した高床式倉庫。

に豊かな生活を営んでいました。

1万年以上にわたる縄文時代の大きな特徴は、遺跡から戦争の武器が出土しないことです。三内丸山のような巨大遺跡からさえ、動物を狩るための弓矢や槍はありましたが、武器は見つかりませんでした。おたがいが助け合う和の社会が維持され、精神的な豊かさを持ち合わせた社会であったと考えられます。私たちの祖先である縄文の人々は、「和の文化」とも呼べるこのようなおだやかな社会を築いていたのです。

## ②独裁政治でなく、みんなで相談して決める合議の伝統

は文書を作成しています。

「合議で訴訟について議論をするときは、訴えた人や訴えられた人が自分と親しいからとか、好きか嫌いかで判断してはならない。また、会議では周囲の人に遠慮したり、地位の高い人を恐れたりせず、ただ道理だけに基づいて発言するべきである。会議の

決定が結果として正しいものであろうと間違ったものであろうと、その決定は一同全員の責任である。」

評定会議では、全員がこの立書に筆を

日本人の  
すばらしさですね



## ③支え合い・助け合いによって成り立つ秩序ある社会

コラム  
外の目から見た日本

### 東日本大震災と日本人

#### ◎世界から絶賛された日本人の行動

2011（平成23）年3月11日の東日本大震災における被災者の冷静沈着な行動は、外国の人々の感嘆と称賛の的となりました。

アメリカの新聞ニューヨーク・タイムスは、「日本人がこうした状況下で、米国のように略奪や暴動をおこさず、相互に助け合うことは全世界でも少ない独特の国民性であり、社会の強固さだ」と評しました。



南三陸町の悲劇を報じる新聞記事（河北新報、2011年4月12日付）  
上は津波被害にあった同町の防災庁舎。